

第5章：中高年者の介護負担

ニッセイ基礎研究所 保険研究部門 中嶋 邦夫

<要旨>

本稿では、中高年者にかかる介護の負担を分析する。少子高齢化社会において中高年者の就業促進は社会的目標となっているが、介護負担は中高年者の就業を左右する要素の1つである。成年者における子育て負担は認識されつつあり、施設等の充実による待機児童解消などが進められている。一方で、中高年者の介護負担に対する認識は十分でなく、今後の在宅介護の推進により中高年者の介護負担は増加する懸念もある。本研究では厚生労働省が実施している「中高年者縦断調査」の個票データを用い、中高年者の介護負担の実態を明らかにする。特に就業への影響（就業との関連）に注目し、大規模データを用いて先行研究を再確認するとともに、追加的な分析を試みる。本稿の分析の結果、有配偶女性や無配偶女性では、先行研究と同様に介護負担により就業確率が下がる傾向のほか、先行研究では見られない就労時間が短くなる傾向がみられた。子育て対策と同様に、介護と仕事を両立できる環境の整備や、家庭内での男女の役割分担の見直しも、今後の課題となるだろう。

キーワード：

JELコード：

1. 問題意識

少子高齢化社会において中高年者の就業促進は社会的目標となっているが、介護負担は中高年者の就業を左右する要素の1つである。成年者における子育て負担は認識されつつあり、施設等の充実による待機児童解消などが進められている。一方で、中高年者の介護負担に対する認識は十分でなく、今後の在宅介護の推進と団塊世代の要介護化の進行によって中高年者の介護負担は増加する懸念がある。

本研究では厚生労働省が実施している「中高年者縦断調査」の個票データを用い、中高年者の介護負担の実態を明らかにする。特に就業への影響(就業との関連)に注目し、大規模データを用いて先行研究を再確認するとともに、追加的な分析を試みる。

本稿の構成は次のとおりである。第2節で、「中高年者縦断調査」の個票データを集計し、中高年者の介護負担の実態を概観する。第3節では、先行研究を踏まえて、中高年者の介護負担と就業との関連(就業への影響)を確認する。第4節では、分析結果を考察する。

2. 中高年者の介護負担の状況等

本節では、厚生労働省が実施している「中高年者縦断調査」の個票データを集計し、中高年者の介護負担の実態を概観する。

厚生労働省が実施している「中高年者縦断調査」は、2005年11月に、同年10月末に50～59歳だった者を対象に調査を開始し、以後、毎年同月に調査が実施されている。以降では、2005年から2010年まで毎回欠かさず回答があった25,157サンプルを分析対象とする。

サンプルの概要は表1のとおりである。経年変化を見ると、配偶関係には大きな変化が見られないものの、就業については仕事をしない者の割合が増加している。これには、当然に定年退職の影響が含まれる。

表1を挿入

後述する先行研究でも述べているように、介護負担は配偶者の有無や男女によって状況が異なる可能性がある。そこで以降では、先行研究にならい、配偶者の有無と性別で区分してみていく。全体および区分ごとの属性は表2のとおりである。

表2を挿入

父母との同居や介護の状況を見たのが表3である。有配偶者を見ると、夫の親との同居や要介護同居の比率が相対的に高く、夫自身が介護している比率が相対的に高い(男性の自父・自母、女性の配父・配母の欄)。妻の親とは別居している比率が高い。また、いずれの親かを問わず、別居中の親には妻が介護している傾向がある。無配偶者を見ると、特に男性で親と同居している比率が相対的に高い。

介護している時間(1週間分、親のみ介護している者のゼロを除いた場合)をみると、全体平均で16.4時間であり、無配偶者や有配偶女性で高い。分布を見ると、無配偶者

では中央値で 10 時間、75%タイル（長い方から上位 25%）で 24 時間となっており、無配偶者の中で男女差は小さい。なお、後述する週の就労時間と異なり、99%タイルでも 100 時間を超える回答となっているのは、介護負担の大きさを物語っている可能性がある。

表 3 を挿入

就業や離職の状況を見たのが表 4 である。有配偶の男性で就業している比率が相対的に高いが、今回のサンプルでは有配偶女性でも 6 割超が就業している。就業形態を見ると、男性で正規の比率が相対的に高く、女性で非正規の比率が相対的に高い。また有配偶女性で無職の比率が相対的に高い。離職率を見ると、有配偶女性と無配偶者で相対的に高い。1 年後の就業状況も併せてみると、無配偶女性で転職の比率が相対的に高い。離職理由として介護をあげた者は全体の 0.56%（98292 サンプル中、550 サンプル）で、有配偶女性で相対的に比率が高かった。なお、離職者には定年退職者も含まれる。全体の離職率 11.6%のうち定年退職は 2.3 ポイントであり、定年退職の比率が相対的に高い有配偶男性では、離職率 9.6%のうち定年退職は 3.0 ポイントであった。

就労日数や就労時間（ゼロを除いた場合）をみると、有配偶女性で相対的に短い。中央値を見ると有配偶女性でも週 5 日・35 時間勤務だが、25%タイルを見ると週 5 日・20 時間勤務となっている。

表 4 を挿入

就業や離職、健康の状況と、父母との同居や介護、その他の属性の状況との関連をクロス集計で見たのが、付表 1 である。後述する回帰分析の予備的な集計であるため、説明は省略する。

3. 中高年者の介護負担と就業の関係

3. 1. 先行研究と本稿の位置づけ

本稿と同じ、在宅介護の負担と就業行動の関係に注目したマイクロデータを利用した実証分析については、すでに大津(2013)が整理している。その後、田中(2013)を始めとする介護負担に関する研究が『季刊家計経済研究』No.98 に特集として掲載されており、その中で岸田(2013)は介護による就労調整（就労時間の短縮、転職、過度の休業(休暇)）と収入の減少を取り扱っている。また、大津(2013)には挙げられていないが、西本(2012)や池田(2013)は、休業(休暇取得)や欠勤、就業時間に注目している。

これらを、大津(2013)が示したように分析対象時期とデータ種類を軸としてまとめたのが表 5 である。本稿は、駒村・大津(2012)および大津(2013)と同じく、介護保険導入後を対象としたパネルデータを用いた分析に属する。介護保険導入後を対象とした研究では、要介護者との同居や要介護者が重度であるなどの要素が就業を阻害する関係や、在宅介護サービスが就労の促進する（阻害を和らげる）関係が見られる。例として、駒村・大津(2012)および大津(2013)の推計結果の要約を表 6 に挙げる。

表 5 を挿入

表 6 を挿入

本稿と、駒村・大津(2012)および大津(2013)の分析の枠組みを比較したのが表 7 である。本稿が優位な点は、サンプル数が多いことと、離職のうち介護によるものを分別できる点にある。本稿が劣位な点は、要介護者の要介護度が不明な点である。要介護度は、駒村・大津(2012)および大津(2013)、ならびに池田(2010)や岸田(2013)において有意な影響を与えているが、本稿が利用した「中高年者縦断調査」には残念ながら該当する設問がなかった。

表 7 を挿入

3. 2. 分析

本稿では、サンプルは、大津(2013)にならって配偶者有無と性別によって4つに区分して、別々に推計した。被説明変数は、(1)就業中か否か、(2)週の就業時間、(3)離職(理由不問)、(4)介護による離職、の4つとした。説明変数は、(a)介護が必要な親との同居有無、(b)介護をしている親との同居有無、を中心とし、先行研究にならって本人や配偶者の属性に関するコントロール変数も投入した。また、大津(2013)が今後の課題として挙げた就業形態の影響を見るため、非正規就労と自営業のダミー変数と介護に関する変数(a や b)との交差項を投入した。被説明変数と説明変数および推計方法の組み合わせは表 8 に記した。パネルデータであるため、各モデルは、プール(pe と表記)、変量効果(re)、固定効果(fe)の各モデルで推計した上で、最適なモデルを選択した。モデル採択時の各種検定の有意水準は 5% で判断した。また、Tobit モデルでは、固定効果モデルを推計できないため、変量効果モデルを選択した。推計には STATA 12.1 を用いた。

なお、被説明変数を(1)就業中か否かとした場合、プール logit モデルでは計算が収束しなかった(変量効果モデルと固定効果モデルでは、一部に収束しないものもあったが概ね収束した)。そこで、参考までに単純に線形回帰した結果(reg)も記載した。

表 8 を挿入

推計式名が m007、m043、m009、m010、m011 で始まる結果は、介護が必要な親との同居が就労や離職に影響するかを見たものである。【有配偶男性】では、就業有無や就労時間への有意な影響はなかったものの、離職への影響は見られた。ただし、1年後の離職(理由不問)への影響は、マイナス(介護が必要な親との同居が離職確率を減らす方向)であった(p 値は 5.9%)。【有配偶女性】では、今後1年間での離職(理由不問)へは影響が無かったが、就業有無や労働時間、1年後までの介護による離職には、就労を阻害し離職を促進する方向への有意な影響が見られた。【無配偶男性】では、就業有無や労働時間への有意な影響は見られなかったが、今後1年間での離職(理由不問)や介護を理由とする離職には離職を促進する方向で有意な影響が見られた。【無配偶女

性】では、logit モデルで推計した就業有無にだけ、就業を阻害する方向で有意な影響が見られた。

表 9 を挿入

推計式名が m013、m044、m015、m016、m017 で始まる結果は、同居中の親を介護していることが就労や離職に影響するかを見たものである。【有配偶男性】では、線形回帰(reg)モデルで推計した就業有無にだけ、就業を阻害する方向で有意な影響が見られた。【有配偶女性】では就業有無や就業時間を阻害する方向と今後1年間の介護での離職を促進する方向で有意な影響が見られた。【無配偶男性】では、今後1年間の介護での離職を促進する方向でのみ有意な影響が見られた。【無配偶女性】では、有配偶女性と同じ傾向が見られた。

表 10 を挿入

推計式名が m019、m045、m021、m022、m023 で始まる結果は、就業形態が非正規の者で、介護が必要な親との同居が就労や離職に影響するかを見たものである。【有配偶男性】では、reg モデルで推計した就業有無に就業を促進する方向で有意な結果(p値は9.4%)が見られたが、logit モデルでの推計には有意な傾向は見られなかった。また、今後1年間での離職(理由不問)への有意な影響が見られた。係数は、非正規や介護が必要な親との同居の項の係数と合計してマイナス($-1.373-1.801+1.272<0$)、すなわち離職を阻害する方向で有意となった。【有配偶女性】では、reg モデルで推計した就業有無に、就業を促進する方向で有意な結果($-0.035+0.642+0.0314>0$)が見られたが、logit モデルでの推計には有意な結果が見られなかった。【無配偶男性】と【無配偶女性】では交差項に有意な係数は得られなかった。

表 11 を挿入

推計式名が m025、m046、m027、m028、m029 で始まる結果は、就業形態が非正規の者で、同居中の親を介護していることが就労や離職に影響するかを見たものである。【有配偶男性】と【有配偶女性】では交差項に有意な係数は得られなかった。【無配偶男性】と【無配偶女性】では、reg モデルで推計した就業有無に、就業を促進する方向で有意な結果が見られたが、logit モデルでの推計には有意な結果が見られなかった。

表 12 を挿入

推計式名が m031、m047、m033、m034、m035 で始まる結果は、就業形態が自営の者で、介護が必要な親との同居が就労や離職に影響するかを見たものである。【有配偶男性】と【無配偶男性】と【無配偶女性】では交差項に有意な係数は得られなかった。【有配偶女性】では、reg モデルで推計した就業有無と就労時間で、就業を促進する方

向で有意な影響が見られた。

表 13 を挿入

推計式名が m037、m048、m039、m040、m041 で始まる結果は、就業形態が自営の者で、同居中の親を介護していることが就労や離職に影響するかを見たものである。

【有配偶男性】と【有配偶女性】では、reg モデルで推計した就業有無と就労時間で、就業を促進する方向で有意な影響が見られた。【無配偶男性】と【無配偶女性】では、就労時間で、就業を促進する方向で有意な影響が見られた。

表 14 を挿入

4. 考察

本稿の推計結果のうち、介護が必要な親との同居や同居中の親を介護していることの係数と p 値のスター表示部分を表 15 にまとめた。概観すると、有配偶女性と無配偶女性で影響が出ている傾向にある。具体的には、就業有無に対しては、有配偶女性や無配偶女性が介護が必要な親と同居していたり同居中の親を介護していると、就業を阻害する方向に影響する結果となった(logit モデルの結果。reg モデルでは他に有意な影響を与えていた要素も見られたが、reg モデルの結果であるため考察は留保する)。就労時間に対しても、有配偶女性が介護が必要な親と同居していたり同居中の親を介護している場合、無配偶女性が同居中の親を介護している場合には、就労時間が減る傾向にある結果となった。離職に対しては、有配偶女性と無配偶男性が介護が必要な親と同居していたり同居中の親を介護している場合や、有配偶男性が介護が必要な親と同居している場合、無配偶女性が同居中の親を介護している場合には、介護を理由とした離職の確率が高まる傾向が見られた。ただし、離職理由を問わない離職全体にまで影響しているのは、無配偶男性が介護が必要な親と同居している場合に限られた。また、有配偶男性が介護が必要な親と同居している場合には、離職理由を問わない離職の確率を下げるという、無配偶男性とは逆の傾向が見られた。また、就業形態の影響を見たところ、非正規就労では有意な特徴が見られなかったが、自営では、同居中の親を介護している場合に就労時間が増える傾向が、世帯形態や性別を問わず観察された。

本稿と同じくパネルデータを使った駒村・大津(2012)および大津(2013)と比べると、有配偶女性が介護が必要な親と同居している場合に就業確率が下がる傾向にある点は一致していた。一方、就労時間に対しては、駒村・大津(2012)および大津(2013)では介護負担と有意な関係が見られなかったが、本稿では有配偶女性や無配偶女性が介護が必要な親と同居したり介護していると、就労時間を減らす傾向が見られた。離職に関しては、駒村・大津(2012)および大津(2013)と、本稿で離職全般を分析した結果では一致した傾向は見られなかったが、本稿で離職理由を介護に絞った分析とは一致する傾向が散見された。また、大津(2013)が課題としてあげた就業形態との関係については、非正規就労では有意な特徴が見られなかったが、自営では、同居中の親を介護している場合に就労時間が増える傾向が、世帯形態や性別を問わず観察された。

有配偶女性や無配偶女性で就業を阻害する方向の影響が見られる点は、過去の研究と整合的な結果と言える。逆に言えば、依然として女性の就労に介護負担のしわ寄せがきていると見ることができる。子育て分野では、女性が子育てしながら働き続けられる就労環境を整えるとともに、家庭では子育て負担を男女で分担することが求められている。今回の結果は、このような子育て分野での対応が、介護の分野でも同様に求められることの追加的な証左となりうる。一方、自営では介護負担があると就労時間が延びる傾向がみられた点は、新たな研究によって追加的に分析される必要があるだろう。

駒村・大津(2012)および大津(2013)の結果と本稿の結果の比較については慎重にみる必要があるが、就労時間への影響がありうる点が示された点や、就業形態別の影響が示された点は新たな貢献とみることができよう。今後の諸研究によって実態がさらに明らかになり、対策の策定に結びつくことを期待したい。

参考文献

- 池田心豪(2010)「介護期の退職と介護休業—連続休暇の必要性和退職の規定要因」『日本働研究雑誌』No.597, pp.88-103.
- 池田心豪(2013)「仕事と介護の両立支援の新たな課題：介護疲労への対応を—」JILPT Discussion Paper 13-01.
- 岩本康志(2001)「要介護者の発生にともなう家族の就業形態の変化」岩本康志編『社会福と家族の経済学』東洋経済新報社, 第5章, pp.115-138.
- 大日康史(2000)「介護場所の選択と介護者の就業選択」岩本康志編『社会福祉と家族の経学』, 第4章, pp.91-114.
- 大津唯(2013)「在宅介護が離職に与える影響についての分析」, Joint Research Center for Panel Studies Discussion Paper Series, DP2012-013.
- 大津唯・駒村康平(2012)「介護の負担と就業行動」樋口美雄・宮内環・C.R.McKenzie・慶應義塾大学パネルデータ設計・解析センター編『パネルデータによる政策評価分析[3]親子関係と家計行動のダイナミズム—財政危機下の教育・健康・就業』第7章, 143-159.
- 小椋正立・墨昌芳(2012)「日本の介護保険制度は何をもたらしたのか?—経済学を中心とした先行研究のサーベイ—」CIS Discussion paper series, No.545.
- 岸田研作(2013)「介護による就労調整は世帯収入を成少させるか」『季刊家計経済研究』No.98, pp.54-59.
- 小原美紀(2009)「親の介護と子の労働市場」『日本経済研究』No.60, pp.36-58.
- 酒井正・佐藤一磨(2007)「介護が高齢者の就業・退職決定に及ぼす影響」『日本経済研究』No.56, pp.1-25.
- 清水谷諭・野口晴子(2004)『介護・保育サービス市場の経済分析—マイクロデータによる実解明と政策提言』東洋経済新報社.
- 田中慶子(2013)「「在宅介護のお金とくらしについての調査」の概要」『季刊家計経済研究』No.98, pp.2-59.
- 西本真弓(2006)「介護が就業形態の選択に与える影響」『季刊家計経済研究』No.70,

pp.53-61 頁。

西本真弓(2012)「介護のための休業形態の選択について—介護と就業の両立のために望まれる制度とは？」『日本労働研究雑誌』No.623, pp.71-84

西本真弓・七條達弘(2004)「親との同居と介護が既婚女性の就業に及ぼす影響」『季刊家経済研究』No.61, pp.62-72.

山口麻衣(2004)「高齢者ケアが就業継続に与える影響—第 1 回全国家族調査(NFR98)2 次析」『老年社会科学』Vol.26, No.1, pp.58-67.

表1：サンプルの概要

女性	year						Total
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
0	11,873	11,873	11,873	11,873	11,873	11,873	71,238
1	13,284	13,284	13,284	13,284	13,284	13,284	79,704
Total	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	150,942

年齢	year						Total
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
50	1,673	0	0	0	0	0	1,673
51	1,734	1,673	0	0	0	0	3,407
52	2,209	1,734	1,673	0	0	0	5,616
53	2,397	2,209	1,734	1,673	0	0	8,013
54	2,489	2,397	2,209	1,734	1,673	0	10,502
55	2,604	2,489	2,397	2,209	1,734	1,673	13,106
56	3,160	2,604	2,489	2,397	2,209	1,734	14,593
57	3,005	3,160	2,604	2,489	2,397	2,209	15,864
58	3,034	3,005	3,160	2,604	2,489	2,397	16,689
59	2,225	3,034	3,005	3,160	2,604	2,489	16,517
60	406	2,225	3,034	3,005	3,160	2,604	14,434
61	221	406	2,225	3,034	3,005	3,160	12,051
62	0	221	406	2,225	3,034	3,005	8,891
63	0	0	221	406	2,225	3,034	5,886
64	0	0	0	221	406	2,225	2,852
65	0	0	0	0	221	406	627
66	0	0	0	0	0	221	221
Total	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	150,942

配偶者有無 × 性別	year						Total
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
無配偶男	1,328	1,350	1,314	1,321	1,293	1,371	7,977
無配偶女	1,848	1,900	1,869	1,924	1,896	2,051	11,488
有配偶男	10,534	10,518	10,550	10,547	10,568	10,474	63,191
有配偶女	11,424	11,374	11,406	11,352	11,363	11,178	68,097
.	23	15	18	13	37	83	189
Total	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	150,942

ふだん収入 になる仕事 をしている	year						Total
	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
0	4,690	4,997	5,456	5,958	6,899	7,625	35,625
1	20,450	20,150	19,694	19,193	18,256	17,494	115,237
.	17	10	7	6	2	38	80
Total	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	25,157	150,942

(注) 2005年から2010年まで全て回答があったサンプルを集計(以下同じ)。

表 2 : サンプルの属性

variable	N	mean	sd	min	p5	p25	p50	p75	p95	p99	max
全体											
本人__年齢	150,753	57.5	3.3	50	52	55	58	60	63	64	66
本人__学歴(1=中学~4=大学(院))	149,120	2.31	0.9	1	1	2	2	3	4	4	4
本人__月収あり	149,044	0.80	0.40	0	0	1	1	1	1	1	1
本人__稼働月収あり	148,943	0.69	0.46	0	0	0	1	1	1	1	1
本人__年金月収あり	148,614	0.13	0.34	0	0	0	0	0	1	1	1
本人__月収(万円)	132,357	28.2	75.2	0	0	3.5	17	35	70	250	8000
(上位0.5%除去後)	131,696	24.4	35.3	0	0	3	17	35	65	175	498
(ゼロを除いた場合)	100,992	31.8	37.3	0.5	5	12	24	40	75	200	498
本人__月収(公的年金以外)	62,777	27.2	89.8	0	0	0	12	30	70	330	8000
(上位0.5%除去後)	62,373	22.0	37.9	0	0	0	12	30	65	200	498
(ゼロを除いた場合)	45,416	30.2	41.5	1	4	10	20	36	80	248	498
本人__月収(公的年金)	73,665	2.0	4.5	0	0	0	0	1	12	20.5	49.5
月間家計支出(万円)	137,734	32.2	37.5	0	10	20	28	35	60	126	3000
(上位0.5%除去後)	137,051	30.2	17.9	0	10	20	28	35	59	100	230
借入金額(万円)	139,109	434	1546	0	0	0	0	320	2000	4500	90000
(上位0.5%除去後)	138,417	359	777	0	0	0	0	300	2000	3500	7800
(ゼロを除いた場合)	53,505	929	1015	1	50	200	570	1300	3000	5000	7800
預貯金額(万円)	134,677	974	1677	0	0	0	420	1000	4000	7000	70000
(上位0.5%除去後)	134,330	932	1397	0	0	0	400	1000	4000	7000	10000
(ゼロを除いた場合)	99,501	1258	1492	1	100	300	700	1700	4500	7000	10000
健康状態	149,537	4.2	0.9	1	3	4	4	5	6	6	6
精神状態(6項目平均・無回答=0)	150,753	4.3	1.1	0	2.3	4	4.7	5	5	5	5
(無回答を除いた場合)	143,710	4.5	0.7	1	3.2	4.2	4.7	5	5	5	5
配偶__年齢	125,341	57.3	5.3	26	49	54	57	61	66	69	88
配偶__学歴(1=中学~4=大学(院))	123,418	2.3	0.9	1	1	2	2	3	4	4	4
配偶__月収あり	121,537	0.8	0.4	0	0	1	1	1	1	1	1
配偶__稼働月収あり	121,424	0.7	0.5	0	0	0	1	1	1	1	1
配偶__年金月収あり	118,638	0.2	0.4	0	0	0	0	0	1	1	1
配偶__月収(万円)	105,645	26.2	61.5	0	0	2	16	34	67	200	4000
(上位0.5%除去後)	105,125	23.0	29.8	0	0	2	16	33	64	140	360
(ゼロは欠損扱い)	79,199	30.5	30.8	0.5	5	12	25	40	70	160	360
配偶__月収(公的年金以外)	50,036	23.1	66.3	0	0	0	10	26	63	240	3225
(上位0.5%除去後)	49,797	19.6	33.2	0	0	0	10	25	60	160	400
(ゼロは欠損扱い)	34,985	27.9	36.6	1	5	10	19	34	75	200	400
配偶__月収(公的年金)	55,503	3.5	6.8	0	0	0	0	3.5	20	25	49.5
配偶者健康状態	121,678	4.2	0.9	1	3	4	4	5	6	6	6

variable	N	mean	sd	min	p5	p25	p50	p75	p95	p99	max
有配偶男											
本人 年齢	63,191	57.6	3.3	50	52	55	58	60	63	64	66
本人 学歴(1=中学~4=大学(院))	62,438	2.46	1.1	1	1	2	2	4	4	4	4
本人 月収あり	62,671	0.93	0.25	0	0	1	1	1	1	1	1
本人 稼働月収あり	62,642	0.84	0.37	0	0	1	1	1	1	1	1
本人 年金月収あり	62,473	0.14	0.34	0	0	0	0	0	1	1	1
本人 月収(万円)	54,491	47.4	93.8	0	0	20	34	50	100	480	5010
(上位0.5%除去後)	53,951	40.1	41.3	0	0	20	34	50	90	248	498
(ゼロを除いた場合)	49,581	43.7	41.3	1	13	25	35	50	100	250	498
本人 月収(公的年金以外)	25,696	46.1	111.3	0	0	15	28	45	110	550	5000
(上位0.5%除去後)	25,369	36.2	46.1	0	0	15	28	45	100	286	498
(ゼロを除いた場合)	22,464	40.9	47.0	1	8	20	30	47	100	300	498
本人 月収(公的年金)	30,948	2.5	5.3	0	0	0	0	1.5	14.5	22.5	49.5
月間家計支出(万円)	58,435	34.9	39.5	0	14	20	30	40	60	140	2050
(上位0.5%除去後)	58,105	32.6	18.2	0	14	20	30	40	60	100	230
借入金額(万円)	58,606	530	1724	0	0	0	0	500	2270	5000	90000
(上位0.5%除去後)	58,266	441	847	0	0	0	0	500	2000	4000	7800
(ゼロを除いた場合)	26,344	975	1031	1	60	250	600	1400	3000	5000	7800
預貯金額(万円)	57,436	912	1594	0	0	0	400	1000	3500	7000	47000
(上位0.5%除去後)	57,290	871	1325	0	0	0	400	1000	3500	6000	10000
(ゼロを除いた場合)	42,571	1172	1418	1	100	300	630	1500	4000	7000	10000
健康状態	62,719	4.2	0.9	1	3	4	4	5	6	6	6
精神状態(6項目平均・無回答=0)	63,191	4.4	1.0	0	2.5	4.2	4.7	5	5	5	5
(無回答を除いた場合)	60,490	4.5	0.6	1	3.2	4.3	4.8	5	5	5	5
配偶 年齢	60,764	54.7	4.8	29	46	52	55	58	62	65	88
配偶 学歴(1=中学~4=大学(院))	59,700	2.3	0.8	1	1	2	2	3	4	4	4
配偶 月収あり	58,510	0.7	0.5	0	0	0	1	1	1	1	1
配偶 稼働月収あり	58,483	0.6	0.5	0	0	0	1	1	1	1	1
配偶 年金月収あり	55,832	0.1	0.2	0	0	0	0	0	1	1	1
配偶 月収(万円)	51,650	11.6	32.9	0	0	0	7	14	40	92	2006
(上位0.5%除去後)	51,580	10.8	20.1	0	0	0	7	14	40	80	360
(ゼロは欠損扱い)	31,971	17.4	23.2	0.5	4	7	10	20	45	101	360
配偶 月収(公的年金以外)	25,138	11.7	37.1	0	0	0	6	12	40	105	2000
(上位0.5%除去後)	25,095	10.6	23.4	0	0	0	6	12	40	100	400
(ゼロは欠損扱い)	14,846	18.0	28.1	1	3	7	10	20	49	150	400
配偶 月収(公的年金)	25,675	0.6	2.4	0	0	0	0	0	5	12.5	49
配偶者健康状態	58,697	4.3	0.9	1	3	4	4	5	6	6	6
有配偶女											
本人 年齢	68,097	57.5	3.3	50	52	55	58	60	63	64	66
本人 学歴(1=中学~4=大学(院))	67,521	2.20	0.8	1	1	2	2	3	4	4	4
本人 月収あり	67,252	0.66	0.47	0	0	0	1	1	1	1	1
本人 稼働月収あり	67,195	0.56	0.50	0	0	0	1	1	1	1	1
本人 年金月収あり	67,087	0.10	0.31	0	0	0	0	0	1	1	1
本人 月収(万円)	60,937	11.7	36.8	0	0	0	7	14	40	90	3500
(上位0.5%除去後)	60,878	10.9	21.4	0	0	0	7	14	40	80	486.5
(ゼロを除いた場合)	38,025	17.5	24.9	0.5	3	7	10	20	45	105	486.5
本人 月収(公的年金以外)	28,936	11.2	43.9	0	0	0	5	12	38	100	3500
(上位0.5%除去後)	28,896	10.1	22.8	0	0	0	5	12	37	96	480
(ゼロを除いた場合)	16,932	17.2	27.7	1	3	7	10	18	48	130	480
本人 月収(公的年金)	33,174	1.1	3.1	0	0	0	0	0	7.5	14.5	48
月間家計支出(万円)	62,178	32.4	36.5	0	12	20	30	35	60	120	3000
(上位0.5%除去後)	61,905	30.7	17.4	0	12	20	30	35	58	100	230
借入金額(万円)	62,456	405	1475	0	0	0	0	300	2000	4070	90000
(上位0.5%除去後)	62,161	336	755	0	0	0	0	300	2000	3500	7800
(ゼロを除いた場合)	22,490	928	1013	1	50	200	583	1300	3000	5000	7800
預貯金額(万円)	59,956	1052	1750	0	0	30	500	1300	4000	7200	70000
(上位0.5%除去後)	59,808	1010	1448	0	0	30	500	1300	4000	7000	10000
(ゼロを除いた場合)	45,389	1330	1529	1	100	300	800	2000	5000	7200	10000
健康状態	67,587	4.2	0.9	1	3	4	4	5	6	6	6
精神状態(6項目平均・無回答=0)	68,097	4.3	1.1	0	2.2	4	4.7	5	5	5	5
(無回答を除いた場合)	64,798	4.4	0.7	1	3.2	4.2	4.7	5	5	5	5
配偶 年齢	64,577	59.8	4.5	26	53	57	60	63	67	70	85
配偶 学歴(1=中学~4=大学(院))	63,718	2.4	1.1	1	1	2	2	4	4	4	4
配偶 月収あり	63,019	0.9	0.3	0	0	1	1	1	1	1	1
配偶 稼働月収あり	62,933	0.7	0.4	0	0	0	1	1	1	1	1
配偶 年金月収あり	62,798	0.3	0.5	0	0	0	0	1	1	1	1
配偶 月収(万円)	53,988	40.2	77.2	0	0	19	30	45	85	300	4000
(上位0.5%除去後)	53,538	34.8	32.7	0	0	19	30	45	80	180	360
(ゼロは欠損扱い)	47,224	39.4	32.1	1	12	23	32	47	83	200	360
配偶 月収(公的年金以外)	24,897	34.6	84.8	0	0	8	20	40	88	360	3225
(上位0.5%除去後)	24,701	28.7	38.8	0	0	8	20	38	80	200	400
(ゼロは欠損扱い)	20,138	35.2	40.2	1	6	15	25	40	90	240	400
配偶 月収(公的年金)	29,826	5.9	8.2	0	0	0	0	10.5	22.5	27	49.5
配偶者健康状態	62,981	4.2	1.0	1	3	4	4	5	6	6	6

variable	N	mean	sd	min	p5	p25	p50	p75	p95	p99	max
無配偶男											
本人__年齢	7,977	57.4	3.3	50	52	55	57	60	63	64	66
本人__学歴(1=中学~4=大学(院))	7,819	2.19	1.0	1	1	1	2	3	4	4	4
本人__月収あり	7,805	0.81	0.39	0	0	1	1	1	1	1	1
本人__稼働月収あり	7,797	0.69	0.46	0	0	0	1	1	1	1	1
本人__年金月収あり	7,776	0.14	0.34	0	0	0	0	0	1	1	1
本人__月収(万円)	6,925	30.0	71.3	0	0	7	20	33.5	60	320	3200
(上位0.5%除去後)	6,886	26.1	37.9	0	0	7	20	33	60	210	480
(ゼロを除いた場合)	5,379	33.4	40.0	1	8	17	26	38	65	255	480
本人__月収(公的年金以外)	3,260	28.0	67.3	0	0	0	16	30	65	360	1000
(上位0.5%除去後)	3,237	23.7	41.9	0	0	0	15	30	60	250	430
(ゼロを除いた場合)	2,379	32.3	46.0	1	5	14	21	34	74	300	430
本人__月収(公的年金)	3,854	2.2	4.7	0	0	0	0	2	12	20	49.5
月間家計支出(万円)	7,019	22.9	36.2	0	6	13	20	25	40	100	1500
(上位0.5%除去後)	6,985	21.0	15.2	0	6	13	20	25	40	70	210
借入金額(万円)	7,415	237	1293	0	0	0	0	70	1200	3000	42000
(上位0.5%除去後)	7,395	185	558	0	0	0	0	70	1120	3000	7400
(ゼロを除いた場合)	2,150	638	884	1	20	100	300	800	2400	4500	7400
預貯金額(万円)	7,178	872	1694	0	0	0	200	1000	4000	8000	27000
(上位0.5%除去後)	7,153	823	1466	0	0	0	200	1000	4000	7000	10000
(ゼロを除いた場合)	4,523	1302	1667	1	50	200	670	1800	5000	8000	10000
健康状態	7,884	4.1	1.0	1	2	4	4	5	6	6	6
精神状態(6項目平均・無回答=0)	7,977	4.1	1.2	0	1	3.8	4.5	5	5	5	5
(無回答を除いた場合)	7,528	4.4	0.8	1	2.8	4	4.7	5	5	5	5
無配偶女											
本人__年齢	11,488	57.8	3.3	50	52	56	58	60	63	64	66
本人__学歴(1=中学~4=大学(院))	11,342	2.17	0.8	1	1	2	2	3	4	4	4
本人__月収あり	11,316	0.83	0.38	0	0	1	1	1	1	1	1
本人__稼働月収あり	11,309	0.66	0.47	0	0	0	1	1	1	1	1
本人__年金月収あり	11,278	0.28	0.45	0	0	0	0	1	1	1	1
本人__月収(万円)	10,004	23.3	106.8	0	0	7	15	25	50	200	8000
(上位0.5%除去後)	9,981	20.4	31.1	0	0	7	15	25	50	170	480
(ゼロを除いた場合)	8,007	25.5	32.8	1	6	12	19	28	54	197	480
本人__月収(公的年金以外)	4,885	21.6	143.5	0	0	0	10	20	50	200	8000
(上位0.5%除去後)	4,871	17.2	33.5	0	0	0	10	20	47	197	480
(ゼロを除いた場合)	3,641	23.0	37.0	1	4	9	15	24	54	200	480
本人__月収(公的年金)	5,689	4.1	5.6	0	0	0	0	8.5	14	18.5	45
月間家計支出(万円)	10,102	22.0	28.8	0	7	12	18	25	40	120	900
(上位0.5%除去後)	10,056	20.6	15.9	0	7	12	18	25	40	80	230
借入金額(万円)	10,632	206	895	0	0	0	0	0	1200	3000	20000
(上位0.5%除去後)	10,595	165	523	0	0	0	0	0	1050	2500	7200
(ゼロを除いた場合)	2,521	692	886	1	20	100	300	1000	2500	4000	7200
預貯金額(万円)	10,107	935	1662	0	0	0	300	1000	4000	7000	31204
(上位0.5%除去後)	10,079	892	1415	0	0	0	300	1000	4000	7000	10000
(ゼロを除いた場合)	7,018	1281	1542	2	50	300	700	1870	5000	7330	10000
健康状態	11,347	4.2	1.0	1	3	4	4	5	6	6	6
精神状態(6項目平均・無回答=0)	11,488	4.2	1.1	0	1.8	3.8	4.5	5	5	5	5
(無回答を除いた場合)	10,894	4.4	0.7	1	3	4	4.7	5	5	5	5

(注) 健康状態は主観的回答(6段階で値が大きいほど健康状態良)。精神的負担は6項目にわたる主観的回答(5段階で値が大きいほど精神状態良)の平均。収入や支出、借入金額、預貯金額は、極端に高い回答が存在したため、以降の分析では上位0.5%を除いたデータを利用する。除外しても95%タイル値や99%タイル値にはほとんど変化がなかった。

表3：父母との同居や介護の状況

(名義変数)

	全体		配偶者有無*性別											
			有配偶男			有配偶女			無配偶男			無配偶女		
	有効N	平均	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定
自父_同居_あり	150,753	0.054	63,191	0.083	+++	68,097	0.018	—	7,977	0.114	+++	11,488	0.065	+++
自母_同居_あり	150,753	0.140	63,191	0.198	+++	68,097	0.057	—	7,977	0.333	+++	11,488	0.177	+++
配父_同居_あり	150,753	0.035	63,191	0.022	—	68,097	0.055	+++	7,977	0.002	—	11,488	0.010	—
配母_同居_あり	150,753	0.096	63,191	0.057	—	68,097	0.155	+++	7,977	0.004	—	11,488	0.030	—
父母_同居_あり	150,753	0.263	63,191	0.285	+++	68,097	0.236	—	7,977	0.372	+++	11,488	0.232	—
自父_別居_あり	150,753	0.150	63,191	0.138	—	68,097	0.174	+++	7,977	0.087	—	11,488	0.112	—
自母_別居_あり	150,753	0.343	63,191	0.306	—	68,097	0.407	+++	7,977	0.178	—	11,488	0.278	—
配父_別居_あり	150,753	0.134	63,191	0.215	+++	68,097	0.093	—	7,977	0.017	—	11,488	0.017	—
配母_別居_あり	150,753	0.303	63,191	0.441	+++	68,097	0.246	—	7,977	0.034	—	11,488	0.073	—
父母_別居_あり	150,753	0.555	63,191	0.618	+++	68,097	0.568	+++	7,977	0.237	—	11,488	0.346	—
父母_合計_あり	150,753	0.701	63,191	0.759	+++	68,097	0.686	—	7,977	0.585	—	11,488	0.551	—
自父_同居_介護必要あり	75,338	0.012	31,589	0.017	+++	33,893	0.005	—	3,985	0.017	+++	5,871	0.016	+++
自母_同居_介護必要あり	75,338	0.036	31,589	0.046	+++	33,893	0.018	—	3,985	0.082	+++	5,871	0.049	+++
配父_同居_介護必要あり	75,338	0.008	31,589	0.005	—	33,893	0.012	+++	3,985	0.001	—	5,871	0.002	—
配母_同居_介護必要あり	75,338	0.026	31,589	0.014	—	33,893	0.043	+++	3,985	0.000	—	5,871	0.010	—
父母_同居_介護必要あり	75,338	0.077	31,589	0.077	—	33,893	0.075	—	3,985	0.094	+++	5,871	0.070	—
自父_別居_介護必要あり	75,338	0.029	31,589	0.028	—	33,893	0.033	+++	3,985	0.017	—	5,871	0.025	—
自母_別居_介護必要あり	75,338	0.083	31,589	0.077	—	33,893	0.095	+++	3,985	0.044	—	5,871	0.074	—
配父_別居_介護必要あり	75,338	0.021	31,589	0.029	+++	33,893	0.019	—	3,985	0.001	—	5,871	0.003	—
配母_別居_介護必要あり	75,338	0.062	31,589	0.070	+++	33,893	0.069	+++	3,985	0.003	—	5,871	0.020	—
父母_別居_介護必要あり	75,338	0.165	31,589	0.170	++	33,893	0.182	+++	3,985	0.062	—	5,871	0.109	—
父母_合計_介護必要あり	75,338	0.231	31,589	0.237	++	33,893	0.245	+++	3,985	0.154	—	5,871	0.175	—
自父_同居_介護中	150,753	0.008	63,191	0.011	+++	68,097	0.004	—	7,977	0.014	+++	11,488	0.016	+++
自母_同居_介護中	150,753	0.024	63,191	0.026	+++	68,097	0.015	—	7,977	0.065	+++	11,488	0.044	+++
配父_同居_介護中	150,753	0.005	63,191	0.002	—	68,097	0.009	+++	7,977	0.000	—	11,488	0.001	—
配母_同居_介護中	150,753	0.018	63,191	0.005	—	68,097	0.034	+++	7,977	0.000	—	11,488	0.007	—
父母_同居_介護中	150,753	0.052	63,191	0.040	—	68,097	0.058	+++	7,977	0.073	+++	11,488	0.063	+++
自父_別居_介護中	150,753	0.009	63,191	0.006	—	68,097	0.012	+++	7,977	0.004	—	11,488	0.007	—
自母_別居_介護中	150,753	0.027	63,191	0.017	—	68,097	0.036	+++	7,977	0.015	—	11,488	0.032	+++
配父_別居_介護中	150,753	0.004	63,191	0.003	—	68,097	0.006	+++	7,977	0.000	—	11,488	0.000	—
配母_別居_介護中	150,753	0.011	63,191	0.007	—	68,097	0.016	+++	7,977	0.000	—	11,488	0.004	—
父母_別居_介護中	150,753	0.042	63,191	0.028	—	68,097	0.059	+++	7,977	0.017	—	11,488	0.040	—
父母_合計_介護中	150,753	0.093	63,191	0.068	—	68,097	0.115	+++	7,977	0.090	—	11,488	0.102	+++

(注) 表側の「自」は「自己の」、「配」は「配偶者の」を指す。「父母」はいずれかの父母を指す。中段の「介護必要あり」は、回答者による主観的な判断。また同設問は2008年以降のみ実施されている(そのため、有効Nが約半数となっている)。検定は、比率(表中の平均値)が「全体」の値と比べて差があるかの検定。***は有意水準1%で、**は同5%、*は同10%で有意に差があることを示す。なお、配偶者無にも配偶者の父母に関する回答があるが、これは配偶者との離死別による可能性がある(以下同じ)。

※つづく

(連続変数)

variable	N	mean	sd	min	p5	p25	p50	p75	p95	p99	max
全体											
介護時間(1週間分。以下同じ)	140,463	1.85	10.6	0	0	0	0	0	8	47	168
(ゼロを除いた場合)	14,787	17.60	28.3	1	1	3	7	20	72	160	168
介護時間(親を介護中の者)	140,463	1.57	9.5	0	0	0	0	0	7	36	168
(ゼロを除いた場合)	13,306	16.58	26.7	1	1	3	7	20	70	150	168
介護時間(親のみを介護中の者)	140,463	1.52	9.4	0	0	0	0	0	6	35	168
(ゼロを除いた場合)	13,018	16.40	26.5	1	1	3	7	18	70	150	168
有配偶男											
介護時間	59,438	0.93	7.0	0	0	0	0	0	2	24	168
(ゼロを除いた場合)	4,391	12.62	22.7	1	1	2	5	12	56	120	168
介護時間(親を介護中の者)	59,438	0.79	6.3	0	0	0	0	0	2	20	168
(ゼロを除いた場合)	3,953	11.84	21.5	1	1	2	5	10	50	120	168
介護時間(親のみを介護中の者)	59,438	0.76	6.2	0	0	0	0	0	2	20	168
(ゼロを除いた場合)	3,887	11.66	21.3	1	1	2	5	10	49	120	168
有配偶女											
介護時間	63,059	2.59	12.8	0	0	0	0	0	14	60	168
(ゼロを除いた場合)	8,479	19.29	29.9	1	1	3	8	21	84	168	168
介護時間(親を介護中の者)	63,059	2.16	11.3	0	0	0	0	0	10	50	168
(ゼロを除いた場合)	7,575	17.96	27.9	1	1	3	8	20	72	150	168
介護時間(親のみを介護中の者)	63,059	2.07	11.1	0	0	0	0	0	10	50	168
(ゼロを除いた場合)	7,373	17.73	27.7	1	1	3	8	20	72	150	168
無配偶男											
介護時間	7,378	2.11	12.2	0	0	0	0	0	10	50	168
(ゼロを除いた場合)	695	22.45	33.6	1	1	4	10	24	104	168	168
介護時間(親を介護中の者)	7,378	2.05	12.1	0	0	0	0	0	8	50	168
(ゼロを除いた場合)	665	22.75	33.9	1	1	4	10	24	104	168	168
介護時間(親のみを介護中の者)	7,378	2.03	12.0	0	0	0	0	0	8	50	168
(ゼロを除いた場合)	661	22.69	34.0	1	1	4	10	24	104	168	168
無配偶女											
介護時間	10,588	2.43	11.9	0	0	0	0	0	14	58	168
(ゼロを除いた場合)	1,222	21.04	29.0	1	1	4	10	24	91	147	168
介護時間(親を介護中の者)	10,588	2.14	10.9	0	0	0	0	0	10	50	168
(ゼロを除いた場合)	1,113	20.39	27.7	1	1	4	10	24	84	144	168
介護時間(親のみを介護中の者)	10,588	2.11	10.9	0	0	0	0	0	10	50	168
(ゼロを除いた場合)	1,097	20.40	27.9	1	1	4	10	24	84	147	168

(注) 介護時間は、サンプルが介護している時間(1週間の合計)を指す。最大値に見られる168時間は、24時間×7日間である。

表4：就業や離職の状況
(名義変数)

	全体		配偶者有無×性別											
			有配偶男			有配偶女			無配偶男			無配偶女		
	有効N	平均	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定	有効N	平均	検定
ふだん収入になる仕事をしている	150,675	0.764	63,171	0.913	+++	68,053	0.632	---	7,972	0.761		11,479	0.729	---
正規	150,203	0.347	62,987	0.562	+++	67,854	0.151	---	7,922	0.414	+++	11,440	0.279	---
非正規	150,203	0.226	62,987	0.125	---	67,854	0.315	+++	7,922	0.146	---	11,440	0.304	+++
自営	150,203	0.173	62,987	0.208	+++	67,854	0.150	---	7,922	0.170		11,440	0.123	---
無職・他	150,203	0.254	62,987	0.105	---	67,854	0.384	+++	7,922	0.269	+++	11,440	0.294	+++
今後1年間に離職	98,292	0.116	48,909	0.096	---	37,094	0.137	+++	5,180	0.125	++	7,109	0.138	+++
今後1年間に離職し転職	98,292	0.049	48,909	0.049		37,094	0.046	--	5,180	0.048		7,109	0.060	+++
今後1年間に離職し失業	98,292	0.067	48,909	0.047	---	37,094	0.091	+++	5,180	0.077	+++	7,109	0.078	+++
今後1年間に介護で離職	98,292	.0056	48,909	.0013	---	37,094	.0108	+++	5,180	.0064		7,109	.0072	+
今後1年間に介護で離職し転職	98,292	.0018	48,909	.0005	---	37,094	.0034	+++	5,180	.0019		7,109	.0025	
今後1年間に介護で離職し失業	98,292	.0038	48,909	.0008	---	37,094	.0074	+++	5,180	.0044		7,109	.0046	
今後1年間に定年退職	98,292	0.023	48,909	0.030	+++	37,094	0.015	---	5,180	0.020		7,109	0.021	

(注) 自営には、自営業主のほか、家族従業者と内職者を含む。下段では、縦断調査（パネルデータ）であることを活かして、当年の調査で「就業中」と回答したサンプルが翌年の調査日まで離職した確率を確認した。当年の調査で「就業中」と回答し、かつ翌年の就業状況にもきちんと回答しているサンプルに限られるため、有効Nが少なくなっている。今後1年間に離職したサンプルのうち、1年後の調査で就業中と回答したサンプルを「転職」、非就業と回答したサンプルを「失業」と便宜上表示した。また、離職理由（複数回答）で介護をあげた者を「介護で離職」とし、定年をあげた者を「定年退職」とした。複数回答であるため、両者に重複が存在しうる。また、調査票では1年間の複数の離職経験や離職理由を記載できるため、1年間で1度でも（その理由で）離職した者を「該当あり（ダミー変数の値を1）」と処理した（以下同じ）。

(連続変数)

variable	N	mean	sd	min	p5	p25	p50	p75	p95	p99	max
全体											
週の就労日数	147,272	3.87	2.4	0	0	1	5	6	6	7	7
(ゼロを除いた場合)	111,341	5.12	1.0	1	3	5	5	6	7	7	7
週の就労時間	147,074	30.1	21.4	0	0	5	40	45	60	77	168
(ゼロを除いた場合)	111,143	39.9	14.7	1	14	32	40	48	60	80	168
就労日1日あたりの就労時間	145,974	5.82	3.8	0	0	2	7.6	8	10	13	25
(ゼロを除いた場合)	110,414	7.70	2.2	0.2	4	7	8	8.3	11	14	25
有配偶男											
週の就労日数	61,931	4.81	1.7	0	0	5	5	6	7	7	7
(ゼロを除いた場合)	56,255	5.30	0.9	1	4	5	5	6	7	7	7
週の就労時間	61,840	41.0	17.6	0	0	40	40	50	66	82	168
(ゼロを除いた場合)	56,164	45.1	12.4	1	24	40	43	50	67	84	168
就労日1日あたりの就労時間	61,359	7.74	3.0	0	0	8	8	9	12	15	24
(ゼロを除いた場合)	55,836	8.51	1.9	0.2	6	8	8	9	12	15	24
有配偶女											
週の就労日数	66,389	3.03	2.6	0	0	0	4	5	6	7	7
(ゼロを除いた場合)	41,225	4.87	1.2	1	2	5	5	6	7	7	7
週の就労時間	66,295	20.36	19.8	0	0	0	20	40	50	70	168
(ゼロを除いた場合)	41,131	32.81	14.9	1	10	20	35	40	56	72	168
就労日1日あたりの就労時間	65,849	4.09	3.6	0	0	0	4.6	8	9	12	25
(ゼロを除いた場合)	40,833	6.60	2.2	0.3	3	5	7	8	10	12	25
無配偶男											
週の就労日数	7,752	3.91	2.4	0	0	1	5	6	6	7	7
(ゼロを除いた場合)	5,822	5.20	1.0	1	3	5	5	6	7	7	7
週の就労時間	7,742	32.3	21.8	0	0	2	40	48	60	78	168
(ゼロを除いた場合)	5,812	43.0	13.2	1	18	40	40	48	63	80	168
就労日1日あたりの就労時間	7,676	6.20	4.0	0	0	1.2	8	8	11	14	24
(ゼロを除いた場合)	5,771	8.24	2.1	0.5	5	8	8	9	12	16	24
無配偶女											
週の就労日数	11,200	3.64	2.4	0	0	0	5	5	6	7	7
(ゼロを除いた場合)	8,039	5.07	1.0	1	3	5	5	6	6	7	7
週の就労時間	11,197	26.8	20.4	0	0	0	32	40	56	70	133
(ゼロを除いた場合)	8,036	37.3	13.8	1	12	30	40	45	60	72	133
就労日1日あたりの就労時間	11,090	5.22	3.7	0	0	0	7	8	10	12	24
(ゼロを除いた場合)	7,974	7.26	2.1	0.2	3.2	6	8	8	10	12	24

(注) 週労働時間の最大値に見られる 168 時間は、24 時間×7 日間である。

表 5 : 先行研究の整理

データ種類 分析対象時期	クロスセクション	パネル
介護保険導入前	岩本(2001), 山口(2004), 西本・七條(2004), 西本(2006)	
介護保険導入前後	西本(2012)	清水谷・野口(2004), 酒井・佐藤(2007)
介護保険導入後	小原(2009), 池田(2010), 岸田(2013)	大津・駒村(2012), 大津(2013)

介護負担と就労に関する先行研究の概要					
分析対象時期	データ種類	研究	調査名称	分析課題	分析結果
介護保険導入前	クロスセクション(複数時点)	岩本(2001)	「国民生活基礎調査」(1992・1995・1998年)	20歳以上の男女の就業・非就業の選択	同居の要介護者がいて、かつ自身がその介護者となった場合、女性の就業率が有意に低下する
介護保険導入前	クロスセクション(1時点)	西本・七條(2004)	「社会生活基礎調査」(1996年)	既婚女性のフルタイム就業・パートタイム就業・非就業の選択	「自宅内または自宅外で、ふだん家族の介護・看護をしている場合」に既婚女性のフルタイム就業とパートタイム就業がともに抑制される
介護保険導入前	クロスセクション(1時点)	山口(2004)	「家族についての全国調査(第1回全国家族調査)」		ADL自立援助数が多いほど仕事時間を短縮する傾向があることや、自営業であるほど仕事時間の短縮の可能性が高く、休・退職の可能性が低い
介護保険導入前	クロスセクション(1時点)	西本(2006)	「家族についての全国調査(第1回全国家族調査)」		介護・看病の期間が6ヵ月未満の場合、介護者が就業時間を減らす傾向にあること、また女性の場合、介護・看病の期間が6ヵ月以上1年未満の介護者は休職や退職する傾向にあり、また、食事、着替え、入浴、排泄といった時間集約的で重度の介護・看病を担う場合は勤務形態の継続確率が低下する
介護保険導入前後	パネルデータ	清水谷・野口(2004)	調査対象者を同じくした「高齢者の介護利用状況に関するアンケート調査」(内閣府)と「高齢者の医療保険に関するアンケート」(日本経済研究センター)	介護による就業抑制は、介護保険の導入によって改善された	介護保険制度導入は2002年度には同居する女性の労働供給(就労確率、週当たり就労日数、一日当たり労働時間)を促進した
介護保険導入前後	パネルデータ	酒井・佐藤(2007)	「暮らしと生活設計に関する調査」(ニッセイ基礎研究所、1997・1999・2001・2003年)	介護による就業抑制は、介護保険の導入によって改善された	介護保険制度の導入による明確な就業促進効果は観察されていない。家庭内に要介護者の親がいる場合、男性では正規雇用や自営業の就業の就業が、女性では非正規雇用の就業がそれぞれ抑制される。
介護保険導入前後	クロスセクション(1時点)	西本(2012)	日本労働研究機構が2003年に実施した「育児や介護と仕事の両立に関する調査」	介護のために仕事を休むかどうか、どの休業形態を選択するのかに影響を及ぼす労働者の属性や要因を把握	第1に、介護の主担割合が高いほど休業取得の確率が高まり、特に欠勤が促される。第2に、配偶者の労働時間が長いほど、そして労働時間のコントロールが不可能な就業形態であるほど休業取得が促される。また、配偶者が正社員の場合に欠勤が促され、正社員や非正社員、無配偶者の場合、ほぼ有意に年休を取得する確率が高まる。第3に、介護対象者が一般病院や老人病院に入院している場合、休業取得の確率が高くなり、特に介護休業と年休の取得が促される。第4に、本人の年収が低いほど欠勤が促される。第5に、本人が正社員でない場合に欠勤が促される。
介護保険導入後	クロスセクション(1時点)	小原(2009)	独自のアンケート調査「高齢化と暮らしに関する調査」(2004年)	将来親が介護を必要としたときに介護をしようかどうかという意志(介護意欲)と働き続けるかどうかの意志(市場労働意欲)は同時決定か	親から相続予定があるという情報が子の介護決定を説明するのに重要である。市場労働意欲は介護意欲を抑制しない一方、市場労働意欲は介護意欲を必ずしも抑制しないが、介護意欲は市場労働意欲を低下させる
介護保険導入後	クロスセクション(1時点)	池田(2010)	「仕事と介護に関する調査」(労働政策研究・研修機構、2006年)	家族介護を担う労働者が、連続休暇の必要性から退職しているのか、それとも別の要因で退職しているのか	①介護のために連続休暇の必要性が生じた労働者ほど、勤務先を退職して非就業になる確率が高いこと、②在宅介護サービスには連続休暇の必要性を低下させ、非就業になる確率を低くする効果があること、③連続休暇の必要性にかかわらず、要介護者に重度の認知症がある場合や、同居家族の介護援助がない場合は非就業になる確率が高いこと、④主介護者となる可能性が高く、仕事の負担も重いと予想される正規雇用の女性は、連続休暇の必要性にかかわらず、介護開始時の勤務先を退職して別の勤務先に移る確率が高い
介護保険導入後	クロスセクション(1時点)	池田(2013)	「仕事と介護に関する調査」(労働政策研究・研修機構 2006年)	「家族的責任による仕事の能率低下の有無」に対する「介護のための体調悪化の有無」の効果。「介護のための年休取得の有無」の規定要因。	「家族的責任による仕事の能率低下」は、女性ほど、全面的な身体介助が必要であるほど、介護による体調悪化があるほど、仕事の能率低下を感じる確率が高い。「介護のための年休取得の有無」は、日中の介護があるほど、介護のための体調悪化があるほど、年休取得確率が高くなる。
介護保険導入後	クロスセクション(1時点)	岸田(2013)	「在宅介護のお金と暮らしについての調査」(家計経済研究所、2011年)	要介護者の重症度の悪化が家族介護による就労調整を通じて世帯収入に及ぼす影響	要介護者の重症度が高いと就労調整が行われる傾向、就労調整が総世帯収入を減少させる傾向
介護保険導入後	パネルデータ	大津・駒村(2012)	「日本家計パネル調査(JHPS)」2009-2011	有配偶女性について要介護の親との同居の有無が就業率および就業時間に与える影響	要介護の親と同居している場合、就業率は有意に低くなる傾向が観察される一方、就業時間への有意な影響は観察されなかった。また、要介護度の違いを考慮した分析において、同居する要介護の親の要介護度が高くなるほど就業率は有意に低下することが観察される一方、就業時間への有意な影響は観察されなかった。
介護保険導入後	パネルデータ	大津(2013)	「日本家計パネル調査(JHPS)」2009-2012	離職率に対して要介護者との同居がどのような影響を与えるのか	第一に、要介護4・要介護5の同居要介護者がいる場合、就業している有配偶女性の翌1年間の離職率は有意に高くなる傾向が観察された。一方、有配偶男性で要介護4・要介護5の要介護者と同居し、かつ離職する者はサンプル中におらず、夫婦間で、稼ぎ主である夫が就業を継続し、妻が離職して介護に専念するという役割分担のなされる傾向にあることが示唆された。第二に、同居要介護者がいる場合、無配偶男性、無配偶女性とも翌1年間の離職率が有意に高くなる傾向が観察された。無配偶の場合には、性別に関わりなく介護の担い手となって就業の継続を断念する可能性が示唆されたが、就労収入を制御すると、無配偶男性の離職率への有意な影響は観察されなくなるため、解釈には一定の留保が必要である。

(出典)大津(2013)および各論文から抜粋した。

表6：駒村・大津(2012)および大津(2013)の推計結果概要

出典 調査年 年齢 世帯 性別	大津・駒村(2012)								大津(2013)									
	2009-2011年								2009-2012年									
	40-59歳								50-64歳									
	有配偶								有配偶				無配偶					
変数名	女性								男性		女性				男性		女性	
	M1-1	M1-2	M2-1	M2-2	M1-3	M1-4	M2-3	M2-4	M1	M2	M1	M2	M3	M4	M1	M2	M1	M2
就業中	y	y	y	y														
就業時間					y	y	y	y										
翌1年間に離職									y	y	y	y	y	y	y	y	y	y
要介護の親と同居	--	--			0	0			0	0	0	0	0	0	+	0	++	+++
要支援1・2の親と同居			0	0			0	0										
要介護1-3の親と同居			-	-			0	0										
要介護4・5の親と同居			--	--			0	0					++	++				
認定未申請			0	0			0	0										
自立と認定			0	0			0	0										
年齢	+++	+++	+++	+++	++	+++	++	+++	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
年齢の二乗	---	---	---	---	--	---	--	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(ピーク)	(46.0)	(46.7)	(46.4)	(47.5)	(47.7)	(47.3)	(47.5)	(47.5)										
勤続年数									0	0	0	0	0	0	0	0	++	++
勤続年数の二乗									0	0	0	0	0	0	0	0	-	--
(ピーク)																	(6.4)	(6.4)
主観的健康感が普通以下	--	--	--	--	-	-	-	-										
本人の就労収入(万円)										0		0		0		0		0
配偶者が就業	0		0		0		0		0	0	0	0	0	0				
配偶者の就労収入(百万円)		--	--	--		---	---	---										
15歳以下の子の人数	0	0	0	0	0	-	0	-										
世帯貯蓄額(百万円)	0	0	0	0	0	0	0	0										
最終学歴_短大・高専									0	0	0	0	0	0	+	0	0	0
最終学歴_大学・大学院									0	0	0	0	0	0	0	0		
2010年ダミー	0	0	0	0	0	0	0	0										
2011年ダミー	0	0	0	0	0	0	0	0										
定数項	--	--	--	--	-	-	-	--	0	0	0	0	0	0	0		0	0
サンプル数	1276	1276	1276	1276	1231	1231	1231	1231	922	890	638	602	638	602	111	108	137	127
推計方法	RE P	RE P	RE P	RE P	RE T	RE T	RE T	RE T	PL	PL	PL	PL	PL	PL	PL	PL	PL	PL

(注) 推計方法の RE P は変量効果プロビット、RE T は同トービット、PL はプールドロジットを指す。

表7：駒村・大津(2012)および大津(2013)と本稿の比較

	大津・駒村(2012)	大津(2013)	本稿
サンプル			
有配偶女性	○		
配偶者有無×性別		○	○
サンプル数	1200強	100強～900前後	4000弱～70000弱
被説明変数			
就業有無	○		○
就業時間	○		○
離職		○	○
介護による離職			○
説明変数			
同居要介護者の有無	○	○	○
〃の要介護度	○	○	×
〃の介護中の有無			○
回答者の就業形態			○

表8：本稿で推計したモデルの枠組み

	m	007	043	009	010	011	013	044	015	016	017	019	045	021	022	023
		reg	logit	tobit	logit	logit	reg	logit	tobit	logit	logit	reg	logit	tobit	logit	logit
ふだん収入になる仕事をしている		1	1				1	1				1	1			
週の就労時間(非就業はゼロ)				1					1					1		
今後1年間に離職					1					1					1	
今後1年間に介護で離職						1					1					1
父母_同居_介護必要あり		1	1	1	1	1						1	1	1	1	1
父母_同居_介護中							1	1	1	1	1					
就業形態3区分の2=非正規												1	1	1	1	1
就業形態3区分の3=自営																
父母_同居_介護要×非正規												1	1	1	1	1
父母_同居_介護要×自営																
父母_同居_介護中×非正規																
父母_同居_介護中×自営																
年齢		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
年齢2乗		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本人_主観的健康_中央値以下		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本人_月収万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
借入金額_万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
預貯金額_万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
子_合計_人数_16歳未満		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
配偶_主観的健康_中央値以下		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
配偶_稼働月収あり		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	m	025	046	027	028	029	031	047	033	034	035	037	048	039	040	041
		reg	logit	tobit	logit	logit	reg	logit	tobit	logit	logit	reg	logit	tobit	logit	logit
ふだん収入になる仕事をしている		1	1				1	1				1	1			
週の就労時間(非就業はゼロ)				1					1					1		
今後1年間に離職					1					1					1	
今後1年間に介護で離職						1					1					1
父母_同居_介護必要あり							1	1	1	1	1					
父母_同居_介護中		1	1	1	1	1						1	1	1	1	1
就業形態3区分の2=非正規		1	1	1	1	1										
就業形態3区分の3=自営							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
父母_同居_介護要×非正規																
父母_同居_介護要×自営							1	1	1	1	1					
父母_同居_介護中×非正規		1	1	1	1	1										
父母_同居_介護中×自営												1	1	1	1	1
年齢		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
年齢2乗		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本人_主観的健康_中央値以下		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本人_月収万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
借入金額_万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
預貯金額_万円_上位0.5%除去後		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
子_合計_人数_16歳未満		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
配偶_主観的健康_中央値以下		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
配偶_稼働月収あり		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

(注)「1」は投入したことを示す。1番目の投入項目が被説明変数である。

表9：推計結果（1）介護が必要な親との同居の影響

【有配偶男】	m0071fe			m0431fe			m0091re			m0101fe			m0111re		
	b	se	p	b	se	p	b	se	p	b	se	p	b	se	p
被説明変数	収入になる仕事をしている			収入になる仕事をしている			週の就労時間(非就業は0)			今後1年間に離職			今後1年間に介護で離職		
推計モデル	reg_fe			logit_fe			tobit_re			logit_fe			logit_re		
父母_同居_介護必要あり	0.0104	0.0106	0.325	0.0365	0.353	0.918	0.678	0.486	0.163	-0.732	0.387	0.0586 *	1.437	0.528	0.0065 ***
父母_同居_介護中															
就業形態3区分の2=非正規															
父母_同居_介護要 × 非正規															
父母_同居_介護中 × 非正規															
就業形態3区分の3=自営															
父母_同居_介護要 × 自営															
父母_同居_介護中 × 自営															
年齢	0.215	0.0395	5E-08 ***	5.846	1.477	0 ***	10.44	1.776	4E-09 ***	0.203	2.544	0.936	1.471	3.362	0.662
年齢2乗	-0.002	0.0003	4E-09 ***	-0.052	0.0123	0 ***	-0.103	0.015	6E-12 ***	0.0051	0.0212	0.811	-0.012	0.0285	0.678
本人_主観的健康_中央値以下	-0.005	0.0052	0.328	-0.11	0.167	0.511	-0.82	0.255	0.0013 ***	-0.055	0.178	0.758	0.691	0.493	0.161
本人_月収万円_上位0.5%除去後	0.0006	5E-05	5E-30 ***	0.0616	0.0048	0 ***	0.0646	0.0026	0 ***	0.004	0.0034	0.249	0.0002	0.0047	0.97
借入金額_万円_上位0.5%除去後	1E-05	6E-06	0.0214 **	0.0002	0.0002	0.234	0.0015	0.0002	8E-14 ***	0.001	0.0003	0.0023 ***	0.0002	0.0002	0.262
預貯金額_万円_上位0.5%除去後	-2E-05	3E-06	7E-10 ***	-3E-04	1E-04	0.001 ***	-0.002	0.0001	0 ***	-6E-04	0.0001	1E-07 ***	0.0001	0.0001	0.377
子_合計_人数_16歳未満	0.0057	0.0176	0.748	-0.124	0.712	0.862	1.206	0.605	0.0464 **	0.997	0.736	0.176	-22.55	84897	1
配偶_主観的健康_中央値以下	0.0052	0.005	0.301	0.226	0.153	0.14	0.281	0.25	0.261	-0.036	0.176	0.836	1.084	0.556	0.051 *
配偶_稼働月収あり	0.0072	0.0062	0.249	0.289	0.203	0.154	1.503	0.275	5E-08 ***	0.154	0.23	0.504	-1.373	0.475	0.0039 ***
定数項	-4.971	1.173	2E-05 ***				-220	52.4	3E-05 ***				-54.95	98.9	0.578
	N 20697			1945			20466			1194			11507		
【有配偶女】	m0072fe			m0432fe			m0092re			m0102fe			m0112re		
被説明変数	収入になる仕事をしている			収入になる仕事をしている			週の就労時間(非就業は0)			今後1年間に離職			今後1年間に介護で離職		
推計モデル	reg_fe			logit_fe			tobit_re			logit_fe			logit_re		
父母_同居_介護必要あり	-0.045	0.0121	0.0002 ***	-0.615	0.259	0.017 **	-1.622	0.626	0.0096 ***	0.211	0.49	0.667	2.212	0.453	1E-06 ***
父母_同居_介護中															
就業形態3区分の2=非正規															
父母_同居_介護要 × 非正規															
父母_同居_介護中 × 非正規															
就業形態3区分の3=自営															
父母_同居_介護要 × 自営															
父母_同居_介護中 × 自営															
年齢	0.0286	0.0427	0.503	1.426	1.012	0.159	4.397	2.216	0.0472 **	-4.626	2.54	0.0686 *	-0.197	2.406	0.935
年齢2乗	-5E-04	0.0004	0.193	-0.016	0.0086	0.061 *	-0.052	0.0189	0.006 ***	0.0495	0.0219	0.0238 **	0.0021	0.0207	0.918
本人_主観的健康_中央値以下	-0.011	0.0056	0.0437 **	-0.174	0.129	0.177	-1.47	0.306	2E-06 ***	-0.102	0.219	0.64	0.0926	0.34	0.785
本人_月収万円_上位0.5%除去後	0.0013	0.0001	2E-27 ***	0.094	0.0081	0 ***	0.145	0.0059	0 ***	0.0002	0.008	0.981	-0.047	0.0177	0.0085 ***
借入金額_万円_上位0.5%除去後	9E-06	7E-06	0.157	8E-05	0.0002	0.636	0.0014	0.0003	1E-06 ***	0.0003	0.0003	0.325	-6E-04	0.0003	0.0698 *
預貯金額_万円_上位0.5%除去後	-3E-06	4E-06	0.357	4E-05	9E-05	0.645	-0.001	0.0002	0 ***	-2E-04	0.0002	0.128	-6E-05	0.0001	0.659
子_合計_人数_16歳未満	0.038	0.034	0.264	0.482	0.806	0.55	-0.128	1.739	0.941	0.84	1.442	0.56	-25.47	124667	1
配偶_主観的健康_中央値以下	-7E-04	0.0056	0.905	-0.031	0.128	0.808	0.633	0.307	0.0394 **	0.105	0.232	0.651	0.185	0.349	0.595
配偶_稼働月収あり	0.015	0.0065	0.0211 **	0.271	0.142	0.056 *	1.998	0.35	1E-08 ***	-0.396	0.281	0.158	-0.017	0.378	0.965
定数項	0.534	1.253	0.67				-70.74	64.95	0.276				-4.298	69.92	0.951
	N 22283			2780			22016			828			8518		